

## 競 技 上 の 注 意

1. 本大会は2018年(公財)日本陸上競技連盟競技規則及び本大会申し合わせ事項による。
2. 招集について  
招集時刻は競技日程記載どおりとする。  
招集所は、本競技場第4ゲート付近に設ける。なお、出場競技者以外の招集所内立ち入りを禁止する。  
(1) 招集では、競技者は招集集合時刻までに招集所に集合し掲示されたエリアで待ち、競技者係より胸背部のナンバーカードと腰ナンバーカード、スパイクの確認を受けた後、競技者係の誘導に従って競技場内に入場する。  
(2) 長距離競走出場(3000m、5000m、5000mW)の競技者は、招集時に特別ナンバーカードを配布する。また、腰ナンバーカード(10番以降)を招集時に係より受け取ること。  
(3) 招集は、代理人は認めない。ただし2種目を同時に兼ねて出場する競技者は、あらかじめその旨を本人または代理人が招集完了時刻前までに招集所競技者係に申し出て「同時出場届」を受け取り、必要事項を記入し提出する。この場合に限り招集を代理人がすることを認め、審判長はやむをえない事情があると認めた場合に限り、フィールド競技のみ試技順を変更して出場させることがある。  
(4) 競技を棄権する場合には「棄権届」を招集所競技者係に提出する。また、招集完了時刻に遅れた競技者は棄権とみなす。
3. 競技者の変更は認めない。
4. ナンバーカードは各校で準備し、必ず胸背部と腰部(右腰後方)につける。跳躍競技は胸部・背部のみでもよい。
5. 練習のための投てき用具の貸出しはしない。
6. 棒高跳ポール以外は、競技場備えつけの用具を使用する。ただし、やり(男女)の持ち込みについては、8:30~9:00に本部にて検定を行う。
7. リレーオーダー用紙は、各レース1組目招集完了時刻の1時間前までに招集所競技者係に提出する。
8. 予選・準決勝において、同タイムの場合は1/1000秒単位をもって判定する。
9. 競歩競技において、男子は30分・女子は35分以内で最終周に入れなかった場合は、レースを中止させる。  
(途中棄権扱いとする)
10. 800mのレースにおいて10人で実施する組の場合は、8レーンに2人を入れてレースを行う。
11. 9月30日競技終了後、陸上競技場において関東高校選抜新人大会出場についての打ち合わせ会を行うので学校代表者は必ず参加すること。なお、10月3日(水)13時30分(時間厳守)ケーズデンキスタジアム水戸にて、関東高校選抜新人大会の申込受付を行うので、必要書類を整えた上、必ず出席すること。
12. 個人情報の取り扱いに関して  
大会参加に際して提供される個人情報は本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用することはない
13. ゴミ処理について ゴミは、各自で必ず持ち帰ること。
14. バーのあげ方

	練習	1	2	3	4	5	6	7	8	9
男 走高跳	1.55 1.75 1.90	1.60	1.65	1.70	1.75	1.80	1.85	1.88	1.91	1.94
女 走高跳	1.25 1.40 1.50	1.30	1.35	1.40	1.45	1.50	1.53	1.56	1.59	1.62
男 棒高跳	2.60 3.40 4.20	2.60	2.80	3.00	3.20	3.40	3.60	3.80	3.90	4.00
女 棒高跳	1.70 2.30 2.90	1.70	1.90	2.10	2.30	2.50	2.70	2.80	2.90	3.00
八種走高跳	1.35 1.60	1.40	1.45	1.50	1.55	1.58	1.61	1.64	1.67	1.70
七種走高跳	1.10 1.40	1.15	1.20	1.25	1.30	1.35	1.38	1.41	1.44	1.47

15. 計測ライン(状況により変更することがある。)

男 走幅跳	男 三段跳	男 砲丸投	男 円盤投	男 やり投	男 ハンマー投
5.80	11.70	8.50	25.00	38.00	15.00
女 走幅跳	女 三段跳	女 砲丸投	女 円盤投	女 やり投	女 ハンマー投
4.40	9.00	7.00	19.00	25.00	なし

16. 表彰式は、各種目3位までの入賞者と総合8位までの学校を表彰する。4位から8位までの入賞者は、競技終了後、本部まで賞状を取りに来ること。

17. ハードル補助員

1台目 日立北          2台目 佐竹          3台目 取手松陽      4台目 牛久栄進      5台目 竜ヶ崎一  
6台目 古河中等      7台目 並木中等      8台目 下館一      9台目 境          10台目 つくば秀英

18. 競技者以外フィールド内立ち入り禁止

19. プログラムで名前・ゼッケンナンバーの訂正がある場合は、招集所で行うこと。

20. 助力については、競技規則第144条に従う。なお、スタンドからの映像を見せる事は認めるが、映像機器等をスタンドから吊り降ろしたり、競技者に手渡ししての映像の確認は認めない。(コーチエリアを利用すること)

**練習会場での注意事項**

1. 練習は各校監督のもと、事故防止に十分配慮すること。

2. 補助競技場・投てき場では危険が伴うので、係員の指示に従い十分注意して行うこと。

なお、使用する投てき用具は各自持参すること。

3. 補助競技場の使用レーンについては次の通りとする。

1～2 レーン          中・長距離  
3～6 レーン          短距離  
7～8 レーン          ハードル

4. 補助競技場の使用については17:00(第3日は15:00)をもって終了する。

5. 投てき種目の練習について

投てきの練習については、下記のように使用すること。

なお、投てき場については、当日実施種目(記載種目)の練習を最優先とし、その他の種目については記載種目の時間外で練習すること。なお練習の際は、顧問の先生の監督のもと、安全に留意して行うこと。

	投てき場(記載種目)	本競技場	補助競技場
第1日	女子砲丸投・・・8:40～ 9:10 男子やり投・・・8:40～ 9:10 女子やり投・・・11:40～12:10	使用禁止	使用禁止
第2日	男子ハンマー投・・・ 8:40～ 9:20 男子円盤投・・・11:40～12:40 女子ハンマー投・・・12:40～13:20	使用禁止	使用禁止
第3日	男子砲丸投・・・8:40～ 9:10 女子円盤投・・・8:40～ 9:10	使用禁止	使用禁止